

(別紙3)

文起第750号-1

令和4年10月21日

(施設名) 米子市立山陰歴史館
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆 司

令和3年度「米子市立山陰歴史館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市立山陰歴史館
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(1年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策として、館内の換気や消毒を適宜実施、検温器を設置し感染対策を講じた。事業内容については、米子城跡や弓浜緋等の常設展に加えて鉄道関連資料の企画展も実施しており、地域住民から市外・県外の方まで広く楽しめる事業が企画・実施されている。情報発信については紙媒体やSNS等を効果的に活用し、利用者の増加にもつながっていると見える。

【第三者評価】

① 施設について

- ・老朽化した施設を最大限有効に活用できている。
- ・施設の清掃・維持管理を適切に行っている。
- ・主にハード部分が旧態化しているので厳しいが、エントランスは明るく入りやすくないか。また、物の管理が厳しいが、展示室は子供たちの入りやすい雰囲気にならないか。
- ・様々な業務が確実に行われており、職員の方々の日々の業務も適切だと判断できる。
- ・車椅子の方の来館はあるか。対応はどのようにされているのか。
- ・旧庁舎の活用のため、施設そのものの維持管理に大変苦慮していることがよくわかるが、施設そのものも歴史的価値があり、資料そのものでもあるので、大切に保存しなければならない。
- ・郷土の歴史を地元伝える役割を果たしている。利用者アンケートの結果も良好である。

②管理について

- ・米子市の歴史・文化財施設としてメインとなる施設であるので、維持管理・改修にかかる費用について、市・文化振興課はしっかり予算獲得に努めて欲しい。
- ・協定書に基づき、施設設備の点検、修繕等を適切に行っている。
- ・老朽化が激しい中でも適切に管理運営がなされている。
- ・人員配置、緊急時のマニュアルが整えられ、安心している。

③事業について

- ・毎年工夫を重ね、面白い企画展を開催されている。
- ・特定の個人・団体の展示発表の機会があると良い。
- ・施設の利用者の増加に、企画展や常設展等関心の高い（興味深い）事業の展開の仕方、チラシ・ポスター・テレビ等による情報発信の成果が表れている。
- ・事業計画に沿って進められており、かつ利用実績（利用増）が図られており、職員の方々の努力と工夫がうかがえる。
- ・丁寧な事業実施とアンケート等を活かした改善がなされている。
- ・鉄道のまち・よなごというタイムリーな企画は集客につながる。米子城も全国区へ、今後の事業に期待する。
- ・コロナ禍の中での利用者増加は大変良い。広報活動が効果的に行われたことと思う。
- ・鉄道（電鉄を含む）関係の展示は非常に良かった。
- ・米子城関係の展示を今後継続し、発掘関係の展示を希望する。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

利用者の満足度向上のため、今後も適切な施設管理に努めることが求められる。事業については、引き続き他施設との連携・協力をを行い、効果的に市民の歴史的知識・教養の向上に寄与できる事業展開が求められる。

【第三者評価】

- ・できれば入館者が資料を見て勉強できるスペースがあると良い。手近で資料が見たい。
- ・鉄道関連事業に関する展示や刀剣に関する事業は、今後も関心が高まると予測できるので、ぜひ継続し

て取り組んでいただきたい。

- ・行政に近いところでは引き続きコロナ禍対応で思うように進まないかもしれないが、大変価値のある企画展等もされているので、引き続き、より児童・生徒の学びの場として活用されることを期待する。
- ・米子城と尼子氏との関係、尼子氏と毛利氏の戦況の明示を希望する。古代出雲国と西伯耆の関係についての展示、弓浜緋の成立についてのテーマの企画を希望する。

(別紙2)

令和3年度下期「米子市立山陰歴史館」モニタリング評価表 [令和4年9月]

施設名	米子市立山陰歴史館	
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
選定方法	公募 非公募	
施設の設置目的	郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土の歴史、民俗及び考古資料を主として収蔵展示する博物館類似施設であり、常設展示のほか様々な企画展を実施。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員配置がなされ、緊急時の連絡体制・マニュアル等が整えられている。 [資料等確認]
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	米子市などの外部で実施されている研修にも参加し、職員に必要な資質・能力の向上を図っている。 [資料等確認]
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	チラシの配布やポスターの掲示、広報やホームページへの情報掲載、報道機関への情報提供、Twitterの活用等を行っており、利用促進に努めている。 [資料等確認、立入調査]
2 利用者に関する業務			

(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	利用者数は前年度を上回っており、稼働率も適切な水準である。 [資料等確認]
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	日常業務の窓口で受けた利用者からの要望を迅速に担当者へ報告するとともに、企画展や講演会でのアンケート実施による利用者の要望の把握を行い、その実現に向けて努力している。 [資料等確認、立入調査]
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づいて、電気・水道・消防設備等の点検を適切に行っている。第三者に行わせる業務は必要最小限である。 [資料等確認]
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、定期清掃を行なうなど施設内の清掃や植栽の管理等を適切に実施している。第三者による業務は最小限のものである。 [資料等確認、立入調査]
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書の基準に基づいて、保安・警備業務が適切に実施されている。第三者の行わせる業務は必要最小限である。 [資料等確認]
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書の基準に基づいて、適切な修繕業務が実施されており、第三者に行わせる業務は必要最小限である。 [資料等確認]

4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	事業計画書の内容に沿った自主事業が実施されている。昨年と同様に、資料を借用するなど他の公的施設と連携を図る事業の展開が来ている。 [資料等確認、立入調査]
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	歴史館内の資料については、歴史館条例に沿った書式で対応した。 [資料等確認]
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	施設の在り方を正しく認識しており、事業計画書に具体的な提案がなされている。 [資料等確認]
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	アンケートの実施や窓口対応等を通じて、来館者からの要望・意見の把握を日々行い、事業計画書には利用者への具体的なサービス向上策が提案されている。 [資料等確認]
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づいて、職員が日常的な清掃・点検等の業務を行い、細かくチェックすることで良好な状態が保たれている。 [資料等確認、立入調査]
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	事業実施計画書により利用者への具体的なサービス向上策が提案され、利用者への接客・対応は適切である。利用者への許可、資料提供などを行っている。また、Twitterで新連載企画を開始し、郷土

			の歴史文化の情報発信に努めている。 [資料等確認、立入調査]
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	今年度は「鉄道のまち」としての米子の歴史を知ることができる事業を複数開催しており、様々な角度から郷土史について学ぶ機会を提供できている。 [資料等確認、立入調査]
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」という施設の設置目的に沿って、市民の知ることの少なかった地元の歴史に関する情報発信や、市民がよく知っている地元の歴史の受け入れ体制づくりを模索しながら管理運営にあたっている。 [資料等確認、立入調査]
Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。 [資料等確認]
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	妥当である。 [資料等確認]
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	妥当である。 [資料等確認]

<p>【総評 (所管課評価)】</p> <p>協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理運営を行っている。特に、今年度は利用者数が増加しており、コロナ禍以前と比較しても良好な水準といえる。事業については、近年、鉄道関連資料の収蔵数が増えており、企画展や常設展等、それらの資料を生かした「鉄道のまち」としての米子の歴史も学べる展示ができている。</p>	<p>合計点 (68) 点 / (100) 点 × 100 = (68)</p> <p>平均点 (3.4) 点</p>
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和3年4～令和4年3月〕A	前年度〔令和2年4～令和3年3月〕B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	309	289	20、106.92（%）	
施設利用者数	24,153	16,729	7424、144.38（%）	利用者の増
施設稼働率	100	100	0、100.00（%）	
事業開催数 (企画展览展示日数)	242	182	60、132.97（%）	前年度に開催延期による 展示日数が減少したため

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和3年4～令和4年3月〕A	前年度〔令和2年4～令和3年3月〕B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	30,201,000	21,004,000	9,197,000、143.79（%）	指定管理料の増
受託収入	2,482,800	2,199,664	283,136、112.87（%）	
利用料収入	454,450	145,800	308,650、311.69（%）	有料企画展開催日数の増
事業収入	727,956	229,577	498,379、317.09（%）	観覧料・図書等販売の増
補助収入	104,000	12,300	91,700、845.53（%）	補助対象事業の増
雑収入	8,600	3,760	4,840、228.72（%）	コピー代の増
合計	33,978,806	23,595,101	10,383,705、144.01（%）	

(2) 支出

項目	本年度〔令和3年4～令和4年3月〕A	前年度〔令和2年4～令和3年3月〕B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	17,898,675	15,515,381	2,383,294、115.36（%）	
委託費	1,534,344	3,032,358	△1,498,014、50.60（%）	委託費の減
施設費	6,681,397	5,852,713	828,684、114.16（%）	印刷費・賃借料の増

事業費	2,196,244	634,443	1,561,801、346.17 (%)	事業の増
合 計	28,310,660	25,034,895	3,275,765、113.08 (%)	

※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔令和3年4 ～令和4年3月〕A	前年度〔令和2年4 ～令和3年3月〕B	対比 A-B、A/B	備 考
① 事業収支	5,668,146	△ 1,439,794	7,107,940、393.68 (%)	
② 利用料金比率	1.34	0.62	0.72、216.13 (%)	
③ 人件費比率	63.22	63.87	△ 0.65、98.98 (%)	
④ 外部委託費比率	5.42	12.48	△ 7.06、43.43 (%)	
⑤ 利用者当たり管 理コスト	1,172	1,452	△ 280、80.72 (%)	
⑥ 利用者当たり自 治体負担コスト	1,250	1,256	△ 6、99.52 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項 目	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	備 考
①自己資本比率	26.9	30.3	15.9	5.7	55.5	
②流動比率	78.9	109.6	69.3	276.3	257.0	
③固定長期適合率	111.4	95.2	117.4	59.1	10.9	

④総資産経常利益率	52.7	4.6	-21.2	-5.2	8.8
評 価	(以上の指標を参考に評価する。)				

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2$$

%

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】		
流動資産		流動負債		
現金及び預金	400	買掛金	400	
受取手形	500	短期借入金	300	
有価証券	200	流動負債合計	700	
流動資産合計	1,100	固定負債		
固定資産		社債	300	
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200	
土地	500	固定負債合計	500	
投資有価証券	200	負債合計	1,200	
固定資産合計	900	【純資産の部】		
資産合計		2,000	資本金	600
			利益余剰金	200
			純資産合計	800
			負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

<p>令和3年度企画展「大ヘッドマーク展」</p> <p>会期：令和3年4月25日（日）～7月25日（日）</p> <p>◆性別 男：83人 女：39人</p> <p>◆年代 10代未満：1人 10代：4人 20代：9人 30代：15人 40代：38人 50代：7人 60代：14人 70代：13人 80代：3人</p> <p>◆お住まい 米子市：53人 境港市：4人 鳥取市：14人 西伯郡：7人 日野郡：人 上記以外の鳥取県内4人(琴浦町) 県外41人(松江市、安来市、兵庫県、神戸市、広島県、香川県、神奈川県、横浜市、東京都)</p> <p>◆今回の展示を何で知りましたか？</p>

チラシ・ポスター：44人 新聞：19人 テレビ：30人 ラジオ：1人 広報よなご：10人

インターネット：26人[公式ホームページ：5人、公式 Twitter：5人、その他：5人(友人の Facebook)]

その他：18人(続 100名城に立ち寄り、来館時、知人に聞いて、歴史館の前でみた、入口の掲示板、来て知りました、たまたま)

◆今回の展示内容、展示方法について

大変良かった：79人 よかった：37人 まあまあよかった：5人 普通3人

あまり良くなかった：0人 良くなかった：0人

◆企画展についてのご意見・ご感想（一部）

- ・息子が電車好きのため、GWの最後子供の日に楽しい思い出が出来よかったです。本物のヘッドマークをたくさん近くで見られてよかったです。子供はジオラマに夢中でした。
- ・音楽など(オルゴール)流しても雰囲気やわらぐのではと思いました。大変貴重なものを観ることができて、よかったです。
- ・車両部品の展示が見たい。
- ・子どものころに鉄道好きだったので、非常になつかしく拝見させていただきました。米子は鉄道の街だと思いますので、このような鉄道にちなんだ企画展は定期的をお願いします。時刻表とか駅にちなんだものをお願いします。甲子園列車の展示では、戦績まで書いてあってよかったです。
- ・なつかしい列車のヘッドマークがいくつかあり、当時のことが思いおこされた。出雲、まつかぜ、あさしおなど、できればどりのヘッドマークも展示してほしいです。
- ・展示物の表示札がきつぷになっているところがとても良かった！ヘッドマークの大きさが実物を見ることで実感できて楽しかった。

◆今日、常設展はご覧になりましたか？

はい53人 いいえ60人 (時間がなかった：18人、前に見たため：25人、あまり関心がない：5人)

◆その他 ご意見ご感想などございましたらお書きください。(一部)

- ・1F第2展示場の赤長イスがすごくよかったです。
- ・埴輪のレプリカは良いアイデア
- ・ガラスの洗たく板は、初めてみました。洗えるのでしょうか？
- ・大山寺御幸の人形がとても素敵でした。レプリカでも、初めて土偶を手にすることができて楽しかったです。
- ・米子は「鉄道のまち」であるので今回収集したヘッドマークをふくめた「米子と鉄道」のコーナーがあると嬉しい。(欲をいえば国鉄 JRのみならず法勝寺電車路面電車もあればなお)

令和3年度館蔵品展「太平洋戦争中の米子」

会期：令和3年8月8日(日)～ 年8月29日(日)

◆性別 男：9人 女：6人

◆年代 10代未満1：人 10代：1人 20代：0人 30代：2人 40代：0人 50代：2人 60代：4人
70代：4人 80代：1人

◆お住まい

米子市：9人 境港市：0人 鳥取市：0人 西伯郡：1人 日野郡：0人 上記以外の鳥取県内：0人
県外：5人(千葉県1人、安来3人、岡山1人)

◆今回の展示を何で知りましたか？

新聞：4人 テレビ：6人 ラジオ：0人 広報よなご：0人 インターネット3人 [公式ホームページ0人、公式Twitter0人、その他0人] その他：4人(知人1人、家族のすすめ1人、知らなかった1人、学校できた1人)

◆今回の展示内容、展示方法について

大変良かった：7人 よかった：6人 まあまあよかった：0人 普通：0人
あまり良くなかった：0人 良くなかった：0人

◆企画展についてのご意見・ご感想（一部）

- ・物が不足した時代だったのだと分かった。昔の人が物を大切に長く使う気持ちがわかった。
- ・私は現在91歳。終戦時15歳でした。父は1年志願で当時陸軍中尉でした。昭和19年3度目の召集。鳥取連隊を経て北朝鮮(咸興)に派遣され敗戦後ソ連のエラブカに收容され昭和23年帰還しました。私の中学・高校年令相当の頃は父は不在でした。貧農に近い状態で当時の母の苦労ははかり知れないものがあります。あの食糧難の頃中等学校・大学と進学させてくれました。私にはまだ戦後は終わっていません。思い出すと涙が湧いてきます。
- ・話には聞いていたが陶器の湯たんぼや防水ズキンその他、初めて目にした物が多く、当時の苦しい生活の一端を見た気がします。
- ・べんとうが金ぞくで作られているのが分かった。

◆今日、常設展はご覧になりましたか？

はい：9人 いいえ：5人 (時間がなかった1人、前に見たため3人、あまり関心がない1人)

◆その他ご意見ご感想などございましたらお書きください。(一部)

- ・なつかしい生活用品、学校用品を見ることができ、よかったです。
- ・昔の物がいっぱいおいてあった

令和3年度企画展「法勝寺電車の歴史」

会期：令和3年9月11日(土)～10月31日(日)

◆性別 男：121人 女：37人

◆年代 10代未満：0人 10代：2人 20代：9人 30代：10人 40代：23人 50代：28人
60代：37人 70代：25人 80代：23人

◆お住まい

米子市：86人 境港市：10人 鳥取市：4人 西伯郡：15人 日野郡：2人 上記以外の鳥取県内：2人(倉吉)
県外：39人(島根県、安来市、松江市、出雲市、雲南市、兵庫県、広島県、東広島市、滋賀県、奈良県、東京都、神奈川県、福島県、徳島県、福岡県)

◆今回の展示を何で知りましたか？

チラシ・ポスター：65人 新聞：39人 テレビ：18人 ラジオ：0人 広報よなご：17人
インターネット：38人[公式ホームページ12人、公式Twitter7人、その他10人]

その他：11人(友人から、ウォークに参加して)

◆今回の展示内容、展示方法について

大変良かった：98人　よかった：57人　まあまあよかった：4人　普通：0人

あまり良くなかった：0人　良くなかった：0人

◆企画展についてのご意見・ご感想（一部）

- ・思い出一杯で感動しました。旧制鳥取県立米子中学へ4年間、米子医専へ5年間南部町市山から手間まで歩き手間—米子間9年間通学に利用しました。戦争中無がい車にも乗りました。
- ・数少ない貴重な資料をたくさん見ることができて良かったです。願わくは、デハ203、フ50以外の車両のことも知りたいと思いました。
- ・94才になる母が20代のころ法勝寺から米子までの通勤に使ったそうです。なつかしく見せて頂きました。
- ・令和3年10月2日の法勝寺電車廃線跡ウォークに参加したかったが参加できなくて残念。今度このような企画があれば参加してみたい。出来れば阿賀～母里間のウォークも企画されたいかがでしょう。
- ・電車の展示に加え、バスの資料もあったのが嬉しい。実物があることが素晴らしい。県外だといったん残したものの最終的に廃棄した例が沢山あるので、こうして残していることが誇らしい。

◆今日、常設展はご覧になりましたか？

はい：66人　いいえ：67人（時間がなかった17人、前に見たため31人、あまり関心がない2人）

◆その他 ご意見ご感想などございましたらお書きください。（一部）

- ・いつもキレイな展示室で気持ち良く拝観させてもらっています。
- ・廃線跡等に関心がありました。今後サイクリングで走ってみたいです。
- ・日ノ丸自動車(バス)の歴史(廃止となった日ノ丸バス米子⇔松江線)を改めて振返っていただければ幸いです。
- ・木次線、一畑電車など山陰のローカル鉄道も紹介されては。地方の鉄道に関心をもってもらうことから。存続につながると思います。

令和3年度企画展「皆生温泉開発100年の歴史」

会期：令和3年11月13日（土）～ 令和4年1月10日（月・祝）

◆性別　男：34人　女：20人

◆年代　10代未満1：人　10代：0人　20代：2人　30代：3人　40代：7人　50代：13人　60代：13人
70代：13人　80代：5人

◆お住まい

米子市：36人　境港市：0人　鳥取市：3人　西伯郡：1人　日野郡：0人　上記以外の鳥取県内：1人(倉吉市)
県外：13人(岩国市1人、出雲市1人、安来市1人、松江市2人、福山市1人、兵庫1人、大阪府1人、京都市1人、
東京都2人、東京都八王子市1人)

◆今回の展示を何で知りましたか？

チラシ・ポスター：24人　新聞：6人　テレビ：6人　ラジオ：0人　広報よなご：11人

インターネット：2人[公式ホームページ0人、公式Twitter0人、その他1人]

その他：11人(皆生温泉東光園チラシ1人、宿泊先のOUホテル1人、来館して知った3人、掲示板を通りがかりに見て1人、学校1人、Facebook1人)

◆今回の展示内容、展示方法について

大変良かった：29人　よかった：17人　まあまあよかった：6人　普通：1人

あまり良くなかった：0人　良くなかった：0人

◆企画展についてのご意見・ご感想（一部）

- ・皆生温泉へ来ました。泊まる前に立ち寄りました。昔の砂鉄採掘により砂浜の浸食で苦労されたと初めて知りました。Nゲージのお兄さん達、子ども達に親切にして下さりありがとうございました。
- ・過去と現在の写真比較と地図上に位置が表示されていて興味深かった。街歩きしてみたいです。
- ・S15年生れの自分にとってはところどころ思い出しなつかしく思いました。昔の人、昭和～大正の人は大変な思いで頑張ってきたんですね。
- ・今、泊まらせてもらっている皆生温泉のこれまでの歴史や、時代背景と共に苦労したことなどがわかり勉強になった。昔の旅館が今は別の名前になっていたりしていたら、それもわかるようになっていたらもっと面白かった。
- ・VTRなどの映像を使って過去の皆生温泉、近年の皆生温泉の紹介があるともっと身近に理解できた。

◆今日、常設展はご覧になりましたか？

はい：22人　いいえ：24人（時間がなかった4人、前に見たため10人、あまり関心がない2人）

◆その他 ご意見ご感想などございましたらお書きください。（一部）

- ・弓浜の松林と砂山の消失が残念だ。何とか過去の記録を掘り起こしてほしい。義方小のウラ山がなくなったのはがっかりした。
- ・鉄道の展示は以前見落としていたのがありよかった。本通りのにぎわいが米子駅によるというの口初めて見た。今の本通り再生がそもそも可能か考えさせられた。